2025年第2四半期および上半期の外国人延べ宿泊者数の状況(速報値)

~第2四半期(4~6月)も第1四半期同様に前年同期を上回る~

市内の各観光協会、および城崎温泉旅館協同組合に協力を得て外国人延べ宿泊者数を調査したので、その結果をお知らせする。

1 外国人延べ宿泊者数調査概要

(1) 調査期間

2025年第2四半期(4~6月)および上半期(1~6月)

(2) 調査方法

市内の宿泊施設を対象に、調査票により調査

2 調査結果

(1) 外国人延べ宿泊者数(市内地域別)

ア 4~6月の市内の外国人延べ宿泊者数は27,988人泊で、前年同期比39.7%増となった。

イ 1~6月は50,879人泊で、前年同期比30.0%増となった。

ウ 全国における 4~6月および 1~6月の外国人延べ宿泊者数は、前年同期比 16.7%増、20.8%増である。※6月のデータは第1次速報値

(単位:人泊)

	2025年 2024年 前年同期増減率				
地域	4~6月	4~6月	4~6月		
	1~6月	1~6月	1~6月		
	(7)	(1)	(アーイ) /イ		
豊岡	1, 133	1,058	7.1 %		
	2,688	2, 116	27.0 %		
城崎	24, 368	17, 098	42.5 %		
	43, 129	32, 276	33.6 %		
竹野	503	117	329.9 %		
	782	317	146.7 %		
日高	1,960	1,713	14.4 %		
	4, 212	4, 308	△2.2 %		
出石	0	0			
	0	0	_		
但東	24	50	△52.0 %		
	68	122	△44.3 %		
市内合計	27, 988	20, 036	39.7 %		
	50, 879	39, 139	30.0 %		
全国	40, 648, 640	34, 828, 320	16.7 %		
	78, 214, 920	64, 727, 780	20.8 %		

(2) 外国人延べ宿泊者数 (国別)

ア 4~6月の市内の国別外国人延べ宿泊者数の上位国は、アメリカ・台湾・オーストラリアとなっており、前年同期比で、アメリカが84.3%増と大きく増加した。

イ $1\sim6$ 月の市内における国別外国人延べ宿泊者数の前年同期比で、増加率が顕著だった国は、7位のドイツ 96.6%増、1位のアメリカ 75.7%増、4位のカナダ71.7%増となっている。

一方、2位の台湾は11.1%減、10位の香港は29.1%減となっており、アジアにおいては、日本国内で大規模地震発生の可能性が高まっているとする噂や風評による来日控えが影響したものと思われる。

なお、観光庁調査の全国においても、前年同期比で、アメリカが 30.4%増、カナダが 33.0%増、イギリスが 23.6%増と大きく増加している。

(単位:人泊)

		2025年	2024年	2024年同期比
位	国	4~6月	4~6月	4~6月
		1~6月	1~6月	1~6月
1	アメリカ	6, 962	3, 778	84.3 %
		10, 787	6, 139	75.7 %
2	台湾	3, 030	3, 188	△5.0 %
		7, 843	8,818	△11.1 %
3	オーストラリア	1, 743	1, 207	44.4 %
		3, 061	2,061	48.5 %
4	カナダ	1, 444	911	58.5 %
		2, 471	1, 439	71.7 %
5	イギリス	1, 367	815	67.7 %
		2,007	1, 302	54.1 %
C	フランス	1, 316	828	58.9 %
6	ノ	1,803	1, 181	52.7 %
7	ドイツ	1, 195	578	106.7 %
		1, 571	799	96.6 %
8	タイ	1, 128	943	19.6 %
		2,668	2, 305	15.7 %
9	中国	962	841	14.4 %
		2,941	2, 211	33.0 %
10	香港	919	1,550	△40.7 %
		2, 636	3, 720	△29.1 %
_	その他	7, 922	5, 397	46.8 %
		13, 091	9, 164	42.9 %
計		27, 988	20, 036	39.7 %
		50, 879	39, 139	30.0 %

※順位は、2025年4~6月の外国人延べ宿泊者数(国別)の順位

3 調査結果を踏まえた考察

欧米豪をはじめとする英語圏市場を主要ターゲットとして継続的に展開してきた プロモーション施策が、着実に成果を上げているものと考えられる。

具体的には、(一社)豊岡観光イノベーションが運営する外国語版観光情報サイト「Visit Kinosaki」のコンテンツ更新や、WEB 広告を活用した情報発信、顧客対応などの日々の運用管理、さらに、海外情報発信拠点やメール配信サービスを通じて現地のメディアや旅行会社に対して継続的にアプローチすることで、観光地としての認知度向上と誘客促進につながっている。

[問合せ] 観光文化部観光政策課 TEL0796-21-9016(直通)